



## 2012事業計画・ 予算を決定

3月29日の京都保健会理事会は、2012年度の事業計画、予算を決定しました。

事業計画は、「いのちの平等」を貫く実践として411床の中央病院、上京診療所を軌道に乗せ、吉祥院病院リニューアル工事着工、上京介護事業所の再編を柱としています。事業を支える予算は、診療・介護報酬同時改定の対応と「社会保障と税の一体改革」へのたたかいを背景に、医療介護事業は、経常利益1億9千万円をめざします。

### 事業計画骨子

1. 質の高い地域医療と介護を切れ目なく提供する使命を実現。  
2. 病院・診療所は、①地域での健康づくり運動、②地域での総合的ネットワーク、在宅医療強化、③がん医療含む慢性疾患医療、④子どもの貧困問題、⑤チーム医療の前進に取り組む。  
3. 中央病院は、京都市北西部の急性期・教育病院をめざす。吉

祥院病院は、機能強化型在宅支援病院に向けリニューアル。京都協立病院は、綾部・福知山エリア構造転換検討のなかで事業構想を。

4. 診療所は、①24時間365日を支える地域での役割、②地域医療を担う医師養成の役割、③保健・医療・介護の総合的拠点としての実践。法人診療所委員会の設置。小児科診療所は少子社会の課題、子どもの貧困問題等の重視。歯科診療所は、地域歯科医療の推進、  
医科・歯科・介護との連携。

5. 介護は、法人内ネットワークの強化と地域連携。要となる訪問看護の強化（大規模化、多機能化）。

6. 友の会会員2600人（世帯）、いつでも元気誌260部の増加を。基金目標は純増1億円。  
7. 医師自らの運動・医師養成課題の前進。初期研修指導体制と2013年度フルマッチ、医学生対策の強化、後期研修医、既卒医師確保対策。

8. 2013年卒の看護師目標数

の確保、既卒対策の強化など総合的な看護師確保対策。

9. チーム医療の推進のため、地域とともに歩む専門職の育成。10. 制度教育の充実、民医連運動を担う人づくり。

11. 事業所を守り発展させるため、経営改善を正面から。

12. 法人内の連携強化、ネットワーク活用のため法人内報を発行。

### 予算骨子

事業収益は154億6千万円で前年を4億1千万円増加させます。取り分け入院で4億1千万円増、外来で36百万円増、保健予防で5千万円増、点数改定

の厳しい介護は76百万円減の予算となります。

事業費用は151億9千万円で、前年度累計から5億2千万円の増加で収益の伸びを超過しました。人件費増、前年度・今年度の投資が反映した減価償却費増が特徴です。

個別投資として、吉祥院病院リニューアル5億円、中央病院空調機、高額医療機器等3億19百万円、協立病院電子カルテ7千万円、九条診療所外壁改修11百万円の計9億円と通常投資として2億円（中央1億円、北部3千万円、南15百万円、介護5百万円、予備5千万円）の11億円を投資します。

### 創刊に寄せて

1956年の当会設立以後、医療内容は大きく変わり格段に進歩しています。また、介護事業も開始しました。昨年10月、上京病院全病棟と吉祥院病院医療療養病棟を中央病院に移動し、地域医療棟を開設しました。現在、3病院、15診療所、2歯科、12訪問看護・介護ステーション、4デイサービス、3居宅介護支援、1包括支援センター、1看護学校、

2鍼灸治療所となり、昨年度の事業収益は150億円を超え、京都府でも有数の大きな医療系法人になりました。

一方、法人内の情報が伝わりにくくなっているのも事実です。今回、法人内の連携強化のため、法人内報の発行を理事会で決定しました。季刊発行の予定です。これが京都保健会の一層発展する架け橋になることを期待します。

理事長 三浦次郎